



文学部 人間関係学科(社会福祉コース)

科目/学年		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位	
教養科目	基礎ゼミ	導入演習	1								
		基礎演習	1								
	学際科目	キャリア教育 I	2			キャリア教育 II	2				
		コア1	哲学	2							
			心理学 I	2							
			心理学 II	2							
			スポーツと健康	2							
	生命倫理学	2									
	コア2	現代社会と福祉 I	2	社会調査法	2						
		現代社会と福祉 II	2								
		法学	2								
		地域福祉論	2								
	ボランティア概論	2									
	コア3	数学基礎	2								
コア4	情報リテラシー I	2	統計学	2							
	情報リテラシー II	2									
コア5	英語1	1	TOEIC3	1							
	英語2	1									
	英語3	1									
	英語4	1									
小計	—	34	—	5	—	2	—	0			
専門科目	共通専門科目						発達心理学 I		2		
	小計	—	0	—	0	—	0	—	2		
	演習科目			発展演習1	1	専門演習1(社会)	1	卒業演習1(社会)		1	
				発展演習2	1	専門演習2(社会)	1	卒業演習2(社会)		1	
	小計	—	0	—	—	—	2	—	2		
	学科専門科目	カウンセリング概論	2	権利擁護と成年後見制度	2	人体の機能と構造及び疾病	2	精神保健学 I		2	
		社会理論と社会システム	2	福祉行財政と福祉計画	2	保健医療サービス	2				
		心理学理論と心理的支援	2	就労支援サービス	2	低所得者に対する支援と生活保	2				
		相談援助の基礎と専門職 I	2	社会調査の基礎	2	地域福祉の理論と方法 I	2				
		相談援助の基礎と専門職 II	2	更生保護制度	2	地域福祉の理論と方法 II	2				
				高齢者に対する支援と介護保険	2	社会保障論 I	2				
				高齢者に対する支援と介護保険	2	社会保障論 II	2				
				障害者に対する支援と障害者自	2						
				児童や家庭に対する支援と児童	2						
				相談援助の理論と方法 I	2						
				相談援助の理論と方法 II	2						
	小計	—	10	—	26	—	14	—	2		
	コース専門科目				相談援助演習 I	1	相談援助の理論と方法 III	2	学校教育論		2
					相談援助演習 II	1	相談援助の理論と方法 IV	2			
					相談援助実習 I	2	相談援助演習 III	1			
							相談援助演習 IV	1			
							相談援助演習 V	1			
							相談援助実習指導 II	2			
						相談援助実習指導 III	2				
小計	—	0	—	4	—	13	—	6	8		
合計	—	44	—	35	—	31	—	14	124		
主要科目1	科目名	現代社会と福祉 I・II	社会調査法	社会保障論 I	精神保健学 I						
	特徴	日本の社会福祉に大きく貢献した社会福祉本質論争などの歴史や理論、実践事例を交えて講義を展開する。	授業形態としては、講義と作業の2部構成となる。講義では、社会調査における統計調査法の基本的な知識を習得させる。作業では、Excellによる情報処理やグループ単位の調査票作成を行う。	社会保障制度と障害者自立支援法の連関も確認します。	健康には理想的な状態から疾病障害いわずに不健康の状態までの間に種々の段階があり、低い健康状態の人はより高い健康状態へ近づくことを望み努力をしている。						
	目的	社会福祉の概念や歴史を踏まえ、政策・制度と実践との関連性を学び、社会福祉についての考察を深める。	統計調査における技能を身に付けることを目指す。	社会福祉を学ぶ上で、社会保障の知識は不可欠です。この講義では社会保障の理念とその史的展開や社会保障制度の機能や体系について学習した上で、わが国の社会保険制度(年金保険・医療保険)について理解を深めていくことを目的にしています。	より高次の健康へと努力する人々の営みを、心と身体の両面から支援するのが、保健の立場であり、人の一生の各段階での心身の発達レベルと達成度とそれらを支える取り組みを概説する。						
主要科目2	科目名	相談援助の基礎と専門職 I・II	相談援助の理論と方法 I	相談援助実習 II	卒業論文						
	特徴	ソーシャルワークの実践事例や、国際会議でのトピックなど世界の動向を踏まえ、理解を深めていく。	具体的な現場の実践事例を活用して講義を進めます。	実習期間中の各土曜日には、授業として報告会を実施し、実習中および実習終了学生のグループ・スーパーバージョンを行います。	3年生より所属するゼミにおける個別研究のまとめとして卒業論文を作成します。						
	目的	ソーシャルワーク(社会福祉実践)の理念と歴史から、ソーシャルワークとは何かについて理解を深める。	相談援助における援助関係について全般的に理解し、面接技術に関する知識を習得します。	相談援助実習に係る実習の意義について理解します。また、個別指導並びにし集団指導を通して、社会福祉士に必要な知識と技術について具体的なかつ実践的に理解し、体得する。	自分自身で問題点と発見と検証をおこなひ、必要により調査・実験などを行い、文章にまとめる力を総合的に育む。						

文学部 人間関係学科(教育・生涯スポーツコース)

科目/学年	1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	合計単位
教養科目	基礎ゼミ	導入演習(人間関係) 基礎演習(人間関係)	1						
	学際科目	キャリア教育 I	2		キャリア教育 II	2			
		大学史と別府大学	2						
	コア1	体育実技 I	1						
		体育実技 II	1						
		哲学【公民】	2						
		倫理学【公民】	2						
		心理学 I【公民】	2						
	コア2	心理学 II【公民】	2						
		法学(日本国憲法)	2	ボランティア活動論	2				
		現代社会と福祉 I	2	人権教育論	2				
		現代社会と福祉 II	2	国際関係論【公民】	2				
		行政法【公民】	2	社会思想史【公民】	2				
		社会学【公民】	2	マスコミ論【公民】	2				
		経済学【公民】	2						
	法律学【公民】	2							
	政治学【公民】	2							
	コア3	生物学	2						
	コア4	情報リテラシー I	2						
		情報リテラシー II	2						
コア5	英語 1	1	英語 3	1					
	英語 2	1	英語 4	1					
	中国語コミュニケーション1	1							
	中国語コミュニケーション2	1							
小計	—	42	—	12	—	2	—	0	
専門科目	共通専門科目	発達心理学 I	2	まちづくり特論	2				
		発達心理学 II【公民】	2	教育実践 I	1				
		生涯学習論 I	2	教育実践 II	1				
		生涯学習論 II	2	総合ゼミ	1				
		地方自治論	2	総合ゼミ	1				
	小計	—	2	—	10	—	6	—	0
	演習科目	発展演習 1(人間関係)	1	専門演習 1(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習 1(教育・生涯スポーツ)	1		
		発展演習 2(人間関係)	1	専門演習 2(教育・生涯スポーツ)	1	卒業演習 2(教育・生涯スポーツ)	1		
	小計	—	0	—	2	—	—	2	
	学科専門科目	カウンセリング概論	2	児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度	2	社会心理学	2		
		2	障害者に対する支援と障害者自立支援制度	2	レクリエーション指導法	2			
小計	—	2	—	4	0	4	—	0	
コース専門科目	教育学	教育メディア論	2	教育制度論	2	学校教育論	2		
		教育学方法論	2	地域教育論	2				
		教育調査論	2						
		スポーツ社会学	2						
		スポーツ教育学	2						
		コーチング論	2						
		トレーニング論	2						
		心理学研究法 I【公民】	2						
		心理学研究法 II【公民】	2						
		臨床心理学【公民】	2				卒業論文	6	
小計	—	2	20	4	—	—	8		
合計	—	48	—	48	0	18	—	10	124
主要科目1	科目名	地方自治論	教育調査論	まちづくり特論	学校教育論				
	特徴	地方自治の理念を憲法との関連も含み学び、また、明治以降に自治の歴史を振り返り、中央・地方関係を論じていく。また、地方自治法の規定に基づき、首長と議会に役割や住民の直接参政の制度等にも触れたい。	教育に関する諸統計調査、主に官庁統計や研究調査の種類や読み方、統計調査の基礎知識・技法(平均、比率、単純集計、クロス集計等)を身につけることを目的とする。	土地政策、都市計画など、特にハード面における諸政策の概略を述べ、次に、自治体レベルで策定されている「まちづくりの条例」の工夫に触れたい。	受講者は発表内容に対して、自分なりの意見の記述が求められ、参加者全員でディスカッションを行い提出された教育問題の解決案を考える。				
	目的	今日、激動する社会の中でトータルシステムの見直しが必要とされている。「地方自治」の拡大もその一環である。	教育現象をとらえるための科学的手法である統計調査を学ぶ。	社会福祉、教育など、地方行政における、いわゆるソフト面に関し詳しく学ぶ。	学校教育を中心とする具体的な教育問題を提示し、受講者各自でその現状と課題を調査研究し、解決策について考え、発表することを基本的形式とする。				
主要科目2	科目名	カウンセリング演習	コーチング論	地域教育論	卒業論文				
	特徴	エクササイズを取り入れながら体験的に学習を進めていく。	コーチングとは、スキル(技能)向上のための指導・助言のことである。主にスポーツ分野におけるコーチングについて取り扱うが、あわせて社会的スキルなど一般的なものについてもとりあげる。	地域社会では、学校教育だけでなく社会教育という教育的活動が行われている。また、学校教育と社会教育は不可分の関連がある。例えば、子どもの問題は学校教育のみ問題があるのではなく、社会の問題でもあり、地域社会全体での問題解決が求められている。	3年生より所属するゼミにおける個別研究のまとめとして卒業論文を作成します。				
	目的	実際のカウンセリング現場で求められる、自己理解と他者理解、基本姿勢について、履修学生とともに考える。さまざまなカウンセリングを行っていく際に必要なとなる、基本的な諸技法について演習を行う。	コーチングを受ける、あるいはするという受講生自身の体験を理論として整理していく。	地域社会で當まれる社会教育がどのように学校教育と関連しているかを学ぶ。後半は、別府市の小学校で取り組まれている地域教育の現場で参与観察を行う。	自分自身で問題点と発見と検証をおこない、必要により調査・実験などを行い、文章にまとめる力を総合的に育む。				